



2022年7月1日発行
1916年6月1日創刊
発行/小川 健一郎
編集/大阪YMCA広報室
〒550-0001
大阪市西区土佐堀1-5-6
Tel 06-6441-0894
Fax 06-6445-0297
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>

YMCA 大阪青年 7・8

2022年に大阪YMCAは創立140周年を迎えました



大阪YMCAはYMCAのC、キリスト(Christ)をリーダーとして崇める礼拝や祈りがある団体であり、キリストを王とした「神の国」の物差しで、物事を考える集まりです。YMCAが、教会のようにキリストを直接伝えるための集まりではなく、「愛と奉仕の精神」によって隣人に仕える場であることは大切なことです。この地にある問題に真剣に取り組もうとする時、私たちの目をこの世界だけに向け、この世界の中だけに物事の判断基準をおいては、本当の良きわざをなすことはできません。

その根本の原因は、私たち人間が、「愛と奉仕の精神」で互いに愛し合い、助け合い、仕え合うのではなく、結局は自分を中心に考えてしまう自己中心性、「罪」にあります。普段は隠れていても、いざという時に顔を出す醜さ、意地汚さ、攻撃性、脆さがある。大阪YMCAの創設者たちは、聖書を通して、自分たちの罪に直面させられたのです。

初代会長の宮川経輝先生は、奉仕の話をするときに、「人格」ということに何度も触れています。外面的にどれほど優れた事業を成し遂げても、それを行う人間の動機や心に自己が居座っていたら、結局は他者を思う「奉仕」ではなく、虚しい自己満足のわざに終わってしまう。礼拝、祈りを通して養われた「人格」が、本当に良いわざを生み出す源であるとお考えでした。

社会に対する本当の良きわざ、隣人への「愛と奉仕」を生み出す力は「天から」来ます。YMCAには、天に足場を置いて、世界中の友と共に生きる神の国のビジョン、イエス様の愛で愛し合い一つになるというビジョンがあります。それは、歴史の終わりに必ず完成すると聖書に約束されています。先達たちの祈りを受け継ぎ、天に支えられながら、肩の力を抜いて、喜びを持って、それぞれの場で互いにこの働きを担っていきましょう。

創設者を動かした愛

大阪YMCA創立140周年おめでとうございます。

大阪YMCAは1882年6月4日、大阪市内のキリスト者の有志200名余りが集まり、天満教会仮会堂で「大阪基督教徒青年会」として始まりました。その時に定められた規則の第2条に、「本会は、キリスト教の真理を拡張し、合わせて社会の道徳を改良するをもって目的とする。」とその目的が記されています。(旧字体は変更)大阪YMCAは、大阪の諸教会の青年たちがキリスト教の真理を広く宣べ伝えるため、そしてそれによって社会を良くしていくために始まりました。「大阪YMCA100年史」によると、最初はキリスト教の真理を伝えるための講演会が活動の中心でありましたが、次第に、その時代に応じた、隣人に仕えるわざが生み出されていきました。イエス・キリストを伝えること抜きに、社会が必要としている本当の良きわざを行うことはできないということを実感していたからではないかと想像します。

ほんじょう ゆう こ
日本基督教団 大阪教会 牧師 **本庄 侑子**

2022年6月4日大阪YMCA創立140周年記念礼拝より

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のびとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

創立140周年記念礼拝 報告

大阪YMCAが創立された1882年6月4日を記念した創立記念礼拝を6月4日(土)に開催しました。今年はオンライン配信と一部の方のみ会場にお集りいただく開催方法で、約160名の方にお申込みいただき、祈りのひとときをもつことができました。創立記念礼拝では日本基督教団大阪教会の本庄 侑子牧師に「創設者を動かした愛」と題して奨励をいただき、礼拝後に大阪YMCA会長 岩坂 二規と総主事 小川 健一郎よりメッセージがありました。

会長 岩坂 二規によるメッセージ (一部抜粋)

今年は大阪YMCAの歴史の中で、もう一つ記念として憶えておきたい出来事があります。大阪YMCA創設から20年後の1902年に、大阪YMCAにとって初めての有給職員として安藤乙三郎が迎えられました。今年YMCAを日常の働きとするスタッフが活躍するようになって120周年です。安藤乙三郎から始まった有給教職員は、今では常勤・非常勤を合わせて1300名を超えます。私はYMCAの特徴として優れている点は、レイパーソンやボランティアメンバーとの対話と協議を基盤に、自らの糧と生活を懸けて働き、ミッションに基づいた事業を進める多様なスタッフがいることだと思います。

総主事 小川 健一郎によるメッセージ (一部抜粋)

大阪YMCAの使命には、「希望をもって共に生きる社会の実現をめざす」ために具体的に取り組む内容を示していますが、創立140周年を迎え、社会が大きく変化しています。社会の動きをキャッチし、専門性を深め、新しい技術を取り入れながらも、YMCAの得意な分野と手法で活動を進めて行くことが大阪YMCAが生き残っていく道です。そのためにYMCAが行っている活動をわかりやすく社会に示すこと、グローバルな視野を持った人を育成すること、YMCAが培ってきた「身体性」を重視した活動に取り組んでいきます。



左から、会長 岩坂二規、本庄侑子牧師、総主事 小川健一郎

創立140周年記念礼拝は
YouTubeでご覧いただけます



「憲法記念日知事表彰」受賞

大阪YMCA Yボランティア(会員)で公益財団法人大阪YMCA理事の杉浦 眞喜子さんが、大阪府知事から青少年活動の普及向上に貢献した功労者として表彰を受けられました。杉浦さんは、30年以上の長きにわたりボランティアとして活動され、特に六甲山YMCAでの活動や国際協力、キリスト教関係の活動において活躍されました。この度の受賞を心よりお喜び申し上げます。

左から、杉浦眞喜子さん、大阪YMCA 総主事 小川 健一郎



YMCAストーリー

公益財団法人大阪YMCA理事・大阪なかのしまワイズメンズクラブ
杉浦 眞喜子

私は、1986年に大阪YMCAのなかのしまワイズメンズクラブに入会しました。リーダーの経験があったり、自分や家族がYMCAのプログラムの参加経験があったというわけではありません。単に、「良いことをやっている団体みたい・・・」と外から眺めることから始まりました。そしてその後もしばらくはワイズメンズクラブ会員として「眺めている」という感覚でした。

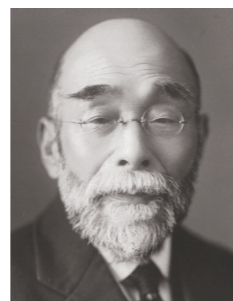
でも、ふと気づくと、ミャンマーのマンドレーYMCAと大阪YMCAのパートナーシップに関わって、今ではミャンマーが私にとってとても大切な存在になっていたり、いじめ反対運動のピンクシャツデーランにウキウキとピンクのセーターを着て参加したりしています。ワイズメンズクラブに入会して36年、「眺めていた」つもりがいつの間にか、YMCAのスローガンのように、みつかる。つながる。を実現している私です。



左 杉浦眞喜子さん
ピンクシャツデーラン2021の様子

140周年記念コラム② 大阪YMCA初代会長 宮川 経輝

1857年1月17日に、熊本藩・郷士の家に生まれる。
1871年(明治4年)に熊本洋学校が設立され、そこで英語授業を受ける。
1876年(明治9年)1月30日、学友35名と共に「奉教趣意書」にサイン(誓約)し、熊本バンドを結成。
金森通倫、横井時雄、小崎弘道、吉田作弥、海老名弾正、徳富蘇峰らと共に、新設された京都の同志社英学校に転校する。(新島襄設立の同志社第一期卒業生)
1882年、大阪基督教会の牧師となると、大阪基督教徒青年会(大阪YMCA)初代会長に就任し、日本プロテスタントの源流の1つとなった。
1883年、沢山保羅(梅花女学校設立者)から授手礼を受けて正式に牧師となった。
その後も、日本組合基督教会の重鎮として精力的に活動し、小崎弘道、海老名弾正と三元老と称された。
1911年62歳の広岡浅子が宮川経輝から受洗。
1925年、大阪教会を引退し名誉牧師。
1936年(昭和11年)3月2日死去。



宮川 経輝

夏のキャンプが始まります!

ユース事業部 野外・キャンプ事業 岡本 泰宏

YMCAのキャンプでは、「人と人」のつながりを大切にしています。コロナ禍になり、「ふれあう」「つながる」といった体験が少なくなっていますが、YMCAのキャンプでは、グループワークを通して仲間やリーダーとの対話や協働を大切にしています。野外料理では、飯ごう炊さんやキャンプファイヤーなど多くのプログラムでそれぞれの役割を担い、その体験が自分に自信を持たせ、心を開かせます。一人ひとりの存在



や意見が尊重されることでコミュニティが居場所となり、お互いに影響を与え合っていく体験を積み重ねることができます。

また、YMCAのキャンプでは、「人と自然」のつながりも大切にしています。自然は私たちに様々な表情を見せてくれます。豊かで美しく、優しく、時には厳しくもありますが、どれをとってもかけがえのないものです。特に日本には四季があることで、1年を通して自然の様々な表情に出会うことができます。

キャンプは、「人と人」、「人と自然」がつながり協働することができます。その環境で夢になって物事に打ち込む機会や新たなものに出会う場面を創り出し、直面する課題に対して工夫を凝らして楽しみながら乗り越えていく力強い子どもたちを育みます。

この夏もYMCAのキャンプで多くの子どもたちやリーダーが自然の中で共に過ごし、たくさん笑顔に出会えることでしょうか。そしてその体験が平和を創り出す一歩につながることを願っています。

皆さまのご参加をお待ちしております!



サマーキャンプのお申し込みはこちらから

全国YMCA water safety キャンペーン ~自分のいのちを守り、みんなのいのちを大切に~

ユース事業部 南ウエルネス 並木 聡子

全国YMCA water safety dayである6月19日(日)に水難事故防止に向けた着衣泳体験会を開催しました。14組33名が参加し、水着を着た状態と衣類を着た状態でプールに入り、普段泳げる人も着衣状態だと



うまく泳げず、溺れる可能性があるということを経験しました。体験会では自分で浮いたり、ペットボトルを使って浮く方法を練習したり、水難事故に関する基礎知識や、事故が起きないようにするためには、事故が起き

た場合にはどうするのかについての講義も行いました。

2021年の夏期には全国で約560名もの水難者がいました。水の事故は未然に防止することが最も大切です。事故の多くは、ちょっとした不注意や水遊びのルールを守らないこと、無謀な行為、知識・技能の不足が原因で発生しています。そこで大阪YMCAは、水難事故を一件でも減らすために、6月から8月の期間、water safety キャンペーンを実施しています。7月の着衣泳体験会は、7月21日(木)、22日(金)を予定しています。開催時間や申込方法はHPでお知らせします。

詳細は大阪YMCAのスイミングページ NEWSをご覧ください。



南YMCA
大阪市天王寺区南河堀町9-52
06-6779-8362

ユースの声 ~つながりを大切に~

ユースボランティアリーダーOB のまた かな 野間田 佳奈

私は2020年度まで大阪YMCAでユースボランティアリーダーとして活動していました。現在は、小学校で教員として働いています。

4年間のリーダー活動を通して、活動に参加して下さる皆さんや地域の方々、スタッフの皆さん、多くの方々との出会い、つながりを持つことができました。

多くの人と関わることで、自分の視野が広がったように感じます。自分とは異なる価値観に触れることによって、新たな気付きを得ることもできました。リーダー活動を終えた今でも、出会った方々とのつながりを大切にしています。

近年、人とのつながりが少なくなっているように感じています。たくさんの人とのつながりをもつことができるような場も減っているのかもしれませんが、私がリーダー活動を通して人と関わることの楽しさを感じたように、子どもたちにも人との出会いを大切にできるようにしてほしいと強く思います。

これからもYMCAが、多くの人が出会い、つながり、それぞれの想いが広がっていく場であってほしいと願っています。

※野間田さんには、2022年7月より2年間、日本YMCA同盟協議会における大阪YMCAの代議員(ユース枠)を担っていただきます。



一番右 野間田 佳奈さん

大阪YMCA「安全の日」

～事故を起こさないように、事故が起こらないように～

大阪YMCAは1976年7月18日、奈良県の宇陀川で行われた東大阪YMCA(当時)の野外活動プログラム中に死亡事故を起こしました。これは、絶対にあってはならない事故でした。このような痛ましい事故を再び起こさないよう深く反省するとともに、毎年7月18日を「安全の日」と定め、YMCAのすべての活動について安全点検と、安全に対する啓発を行って参りました。

大阪YMCAは、0歳から100歳を超える方々と日々接し、「いかなる場合も、何よりも安全を優先すること」を徹底して取り組んでおります。対象年齢や環境によって事故のリスクは様々ですが、安全対策や危険予知のための基本的な考え方、救急法等の研修を行って、この夏も多くの方々の笑顔と笑顔が出会い、輝く「生命」が育まれる場所を準備しています。

ユースリーダー安全支援金ご協力のお願い

大阪YMCAでは、YMCA運動を支え発展させていく担い手であるユースボランティアリーダーの安全と研鑽のために、研修などに用いられる募金を行っています。皆さまのご協力をお願いいたします。

【募金方法】 一口 1,000円

【募金期間】 7月18日(月・祝)～9月30日(金)

【受付窓口】 各YMCA、大阪YMCA統括本部(06-6441-0894)

【その他】 クレジットのご利用も可能です。
以下URLまたは
QRコードからお願いいたします。

<https://kifu.fm/osakaymca/form.php>



会員・賛助会員としてのご協力に 感謝申し上げます。

2022年5月度報告(敬称略)

【新規会員】

三好 紗矢
山原 雅弘

芝田 光雄
嵐岡 正明
清水 真一

部坂 仁
前出 孝子
増成 恒哉

【継続会員】

石井 種男
入江 保夫
岩間 幹雄
上西 卓
隠岐 絵里
蒲田 泰宏
川本 博信
木村 容子
小池 晃
近藤 未美
桜井 和之

ト田 昭子
ト田 啓三
隅田 保
田原 久美子
鉄谷 明
寺岡 博也
中島 みき
中務 冴香
中村 茂高
中村 隆幸
西村 耕
芳賀 義昭
長谷部 一義

松浦 孝次
松倉 幸作
松下 徹
松野 時彦
森本 武
山田 弥栄子
山本 雅司

【継続賛助会員】

栄光ホールディングス株式会社
株式会社サンケイビルマネジメント
三菱商事株式会社関西支社
協大輝税理士事務所

インフォメーション

昔遊びのボランティア募集！

土佐堀YMCAアフタースクールでは、小学校1～3年生のアフタースクールの子もたちに囲碁・将棋・コマ・けん玉・お手玉・おはじきなどの昔遊びを教えて一緒に遊んでいただけるボランティアを募集しています。

活動時間は平日の15:00-17:00や小学校の長期休暇中となります。お電話、メールお待ちしております！



大阪市西区土佐堀1-5-6

afterschool-tosabori@osakaymca.org

TEL : 06-6225-9843(土佐堀YMCAウエルネスセンター)

お電話の際は
「土佐堀YMCAアフタースクールの昔遊びボランティアの件」とお伝えください。

第27回 大阪YMCAチャリティーラン2022 開催のお知らせ

日時：2022年9月19日(月・祝) 9:00～13:00

受付会場：花博記念公園 鶴見緑地 パーゴラ広場

エントリー受付開始：7月上旬(詳しくはHPにて)

パーゴラ広場では、ノルディックウォーキングやポッチャ体験など楽しいイベントを開催予定！



大阪YMCAチャリティーラン事務局

TEL : 06-6441-0894 FAX : 06-6445-0297

E-mail : chari-run@osakaymca.org

早天祈禱会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

第339回

日時：2022年7月15日(金) 7:30～8:15

証し：篠原 知子しのはら ともこさん(大阪YMCAランゲージセンター講師)

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル

第340回

日時：2022年8月19日(金) 7:30～8:15

証し：川良 昌宏かわら まさひろさん(大阪YMCA土佐堀ウエルネス事業長)

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル

※朝食会はありません。

※中止の場合は大阪YMCAホームページ「NEWS 新着情報」でお知らせいたします。



大阪YMCA 統括本部 総務

TEL : 06-6441-0894

E-mail : info@osakaymca.org

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧ください
ます。

